

いなみ町議会だより



(上) 印南町の魚「勇紀(イサキ)」を求めて、多くの太公望が印南港へ… (下) 大漁を期して太公望が腕を競い合う

6月定例議会

議案審議	P2~P3
一般質問 (8議員)	P4~P11
委員会活動報告	P12~P13
企業めぐり・あとかぎ	P14



平成21年度一般会計補正予算

補正予算 1億2,621万8千円追加し、

総額 44億1,490万9千円

平成21年度第2回印南町議会定例会は、6月9日開会し、16日閉会いたしました。
上程案件は、監査委員の選任1件、条例改正1件、工事請負契約1件、補正予算1件、報告1件、議員提出議案2件、合計7件が提案され、慎重審議の上すべて可決しました。

議案審議

監査委員の選任(任期4年)

6月の定例会で監査委員の任期満了に伴い次の方が新たに選任されました。

印南町大字印南原83番地

中垣 光弘

国民健康保険税条例の一部改正

Q 最高限度額の支払世帯はどのようになっていますか。

A 国民健康保険は医療分、介護保険分、後期高齢者支援金の3本柱で課税されます。

医療保険分では1805世帯で33世帯、後期高齢者支援金で1805世帯農地166世帯、介護納付金では1135世帯のうち14世帯となっています。

Q 国保税には住民税に7割、5割、2割の法定減免制度がありますが、2割の減税は以前は自己申告が必要でしたが、昨年から見直しがされました。印南町での対応は、どのようになっていますか。

A 2割軽減については昨年からの申告は要らないようになっております。印南町でも適用しています。

工事請負契約について

平成21年度辺地対策事業、町道柳畑白河線新設改良工事について、契約金額6268万5千円、契約相手は(株)竹平建設で仮契約を行っており、本契約を結ぶために議会の承認を得るための議案です。

Q 94.87%の落札率は設計価格だと思いが、予定価格の落札率はどのようになっていますか。

A 予定価格は公表していません。あくまでも落札率は設計金額に対する落札率の率であります。

Q 予定価格は町長が必ずつくることになっています。

落札率は予定価格と設計価格とは違ってくる。予定価格を公表していくべきではないですか。

A 指名委員会の方で、議論もしていただき、住民の皆さんに信頼をしていただける形がどういふことであるのか、というような議論も一度してもらった方がいいのではないかと思っています。

平成21年度一般会計補正予算

平成21年度一般会計補正予算は討論の結果12対1で可決されました。



新生産システム「ボックス型」わさび栽培

当初予算の歳入歳出の総額に1億2621万8千円が追加され、44億1490万9千円とする補正予算を審議しました。

Q 農林水産業費、土木費の県補助金として08年度、本年度の補正予算での緊急雇用創出事業として、それぞれ50万円ずつの計上がされていきますが、雇用人数はどのほどになりますか。

A 農林水産業費、土木費とも4〜5名程度ずつ予定しています。

Q 真妻わさびの里復興事業費として936万3千円が計上されていますが、どのような事業計画ですか。

A 真妻わさびの生産を復興させるために生産技術の伝承と災害に強い新たな生産システムを確立し、真妻種のブランドを生かした地域振興を図っていくものです。今年度は新規雇用2名を含む3名の雇用です。

Q 選挙関係の予算で国民投票人名簿システム構築業務委託料として191

万1千円が計上されています。

これは昨年5月、改憲手続き法案が可決され、投票人名簿などを作成するための費用ですが、2年間にわたって計上すると思いますが、来年度はどれほどの予算計上になる予定ですか。

A 2年間で整備します。本年度は全体の65%の計上で、来年度は35%の計上見込みとなっています。

Q 昨年5月に可決された改憲手続き法は、まだ課題を残したまま放置されています。この課題を残したまま見切り発車していますが、この状況で、このような予算を計上することは誤っていると考えますが見解をお願いします。

A 投票、登録要件は18歳以上が登録要件となっているが、実際、投票となれば国政選挙等の関連法案を改正しなければ投票は20歳以上になるということで登録と実際投票する人々が違ってくる現象が起きているが、国民投票にいたるまでに関連法案が整備されると考えています。

Q 問題を抱える子ども等の自立支援事業への県委託金が計上されていますが、この事業の内容について説明を求めます。

A 不登校、暴力行為、いじめ、児童虐待の課題について未然防止、早期発見、対応など児童生徒の支援を行う事業です。本年度で3年目となり今年度で一応終了します。

Q 教育費の中でサポーター事業の内容について説明を求めます。

A 「問題を抱える子ども等の自立支援事業」は切目中に1名のサポーターが常駐し、もう1名は清流中と切目中へ週1回出向いています。

Q 「訪問型家庭教育相談体制充実事業」は9名のスタッフで、そのうち家庭や学校へ出向くスタッフは6名となっています。

A 「放課後子ども支援事業」では4小学校で各4名ずつのスタッフとなっています。

Q 電算室へクーラーを設置する費用として100万円が計上されていますが何台分の費用ですか。

A これまでのクーラーが老朽化に伴い修理費用がかさむため、出力の大きなクーラーに入れ替えます。

Q 電算室へクーラーを設置する費用として100万円が計上されていますが何台分の費用ですか。

A これまでのクーラーが老朽化に伴い修理費用がかさむため、出力の大きなクーラーに入れ替えます。

印南町議会一般選挙が施行されます

現在の印南町議会議員の任期が8月31日となっています。

任期満了に伴う一般選挙が次の日程で執行されることとなりました。

印南町議会一般選挙 告示日 平成21年7月28日(火)

印南町議会一般選挙 選挙日 平成21年8月2日(日)



発議第4号

北朝鮮の核実験に断固抗議する決議について

新聞、テレビ等で報道されている北朝鮮の核実験に対し、「非核平和宣言の町」である印南町として議会で次のとおり決議いたしました。

北朝鮮の核実験に断固抗議する決議(案)

5月25日、北朝鮮は、2回目の核実験を強行した。

この核実験は、国連安保理決議第1718号や、六ヶ国協議の共同声明に明確に違反する暴挙である。わたしたちは、唯一の被爆国の国民として、また、非核平和宣言をした町として、断じて容認できない行為である。

同時に、我が国のみならず、東アジアおよび国際社会の平和と安全に対する重大な脅威であり、核兵器廃絶と世界平和を願う人々に対する挑戦である。特に、最近の核廃絶の気運の高まりに逆行するものであり、極めて遺憾である。

私たちは、北朝鮮に対し、これまでのさまざまな合意に従い、すべての核を放棄し、朝鮮半島の非核化に取り組み、無条件で六ヶ国協議に復帰するよう強く求める。

日本政府は、北朝鮮との諸懸案を解決すべく、国際社会の理解と協力を得つつ、共同して断固たる措置をとるよう外交努力を倍加すべきである。

以上、決議する。

発議第3号

印南町議会委員会条例の一部改正について

3月議会での印南町議会議員の定数が14人から12人となったため、議員で構成する常任委員会の委員数を改正するもので、総務文教、厚生2常任委員会は現行どおりとして、産業建設常任委員会を4名から5名に改正するものです。



畑中 豊議員

有識者の意見を聞くべし!!

町長の有識者 会議の設置は

質問 玄素町政2年目に入り、町民の方々から、ようやく町長の評価が聞こえるようになってきました。「地区懇へ行ってきたけど、町長しっかり使っているな」「職員きっちり使っているよやな」というような話をよく耳にします。そして複数の人たちが付け加えて言われることは、「もう、そろそろ思い切った政策を見せてくれてもいいんじゃないか」ということでもあります。

そこで質問します。町長の政策をより発展させるために、町長の有識者会議を設置してはどうでしょうか。

答弁〓町長

政策の基本となる長期総合計画のような策定においては、条例を根拠とした、例えば審議会組織があつて、広く民意を反映する仕組みというのが出来ているんだと、まず思っています。

また、地区懇をやらしていただいている中で、直接住民の皆さんから意見をいただいているので、今のところは有識者会議をさあ作るうとは考えていません。

町長のブレインとしての 有識者会合を

再質問 地区懇ですが、これまで19会場で実施、残りの9会場を3月までに計画されているが、地区懇とは違う性格のものであるということはお分かりいただいていると思います。

国では首相のブレインとしての有識者会合がいくつもありますが、先般も会合のあつた「経済危機克服のための有識者会合」は84名の集まりで、発言時間は1人3分くらいに制限があつたとのこと。

私が申し上げているのは、形式的な会合でなく、本当に町長の政策に加味できる会合を言っているのだと思います。5、6人でよいと思います。

答弁〓町長

確かに有識者の方に参加をいただいで、ご意見をいただくというのは



地区懇で住民の意見を聞く

非常に貴重なことと理解しています。ただ、一方で特定の方々の意見ばかりを聞きすぎるのでは、という心配もあります。地区懇でも参考になることが多くありますし、今、こつとして議論をしているチェック機能で、議員の方々がいてるわけでありますから、皆さんからいただく一般質問、ご意見等、こういった機能がまさに有識者会議にふさわしいものかなとも思っています。



将来的に必要な 生じたら考える

再々質問 百年に一度の経済危機と言われておりますが国内のすべての企業が赤字ということではなく、業績を伸ばしている企業もあります。

ここに当町の今後の行政の在り方を学ぶところがあるように感じます。

例えば、既存の商品などに手を加えて、消費者等の好みのものに作り変えることであり、作り変えることについては、異業種から意見、ヒントをもらうやり方です。「カスタマイズ」と呼ばれ、業績を伸ばしている企業の多くが取り入れているとのことであり、「カスタマイズゼーション」町長もご存じであろうかと思えます。是非とも設置すべきであると思いたすがいかがでしょうか。

答弁〓町長

今、いろんな角度から意見という形でいただいたのでございますが、これは将来において、ずっと否定するということではないことをご理解いただけたらと思います。

将来的に、その必要性が生じれば、もちろんやりたいと思っています。



榎本 一平議員

「放課後子ども教室」の今後について

質問 平成19年度から4つの小学校で、子どもたちの安全・安心な居場所を設ける「放課後子ども教室」が開かれ、多くの子どもが参加している。しかし、この事業は国の3年間の事業で、今年度が最後となる可能性が高くなっている。
町の対応として、どのように考えているか。

答弁 教育課長

大きな成果もあり、継続を望む声があれば国、県の動向を見ながら柔軟に対応を考えている。

再質問 昨年度にこの事業に関する費用は約100万円。そんなに法外の金額でない。もし、この事業が今年度で終了すれば、当面町単独で進めていく考えはないか。

答弁 町長

子育ては幼児、小、中の各教育に責任を持ち総合的観点から論議を進めていく。将来的に学童保育も視野に入れ、この事業が発展的になっていくと、考えている。今後の事業については未定である。

09年度の国の補正予算（雇用対策など）を有効的に活用を！

質問 国会で、09年度の総額15兆円の補正予算が成立した。この補正予算の中に「各市町村への配慮」として雇用や暮らしの対策に印南町が活用できる内容が含まれているが、具体的な計画は。

答弁 産業課長

真妻わさび復興事業に新規雇用として2名、里山循環利活用事業に9名をそれぞれ雇用する予定である。

再質問 印南町は住宅の火災警報機の設置率が20%台と低い状況にある。平成23年度までに全住宅に設置が義務づけられている。今回の国の補正予算を活用してどうか。

答弁 総務課長

広域消防や婦人防火クラブの協力で啓発に努めている。主体的に各家庭で取り組んでもらう事を重点におき、直接的な費用の助成などは考えていない。

切目王子裏の風早線と農免道路の交差点、国道42号線との交差点の安全対策を

質問 切目王子裏の風早線と農免道路の交差点、交差点を過ぎ国道42号線との交差点は危険な場所になっている。この2つの交差点の安全対策を。

答弁 建設課長

風早線と農免道路交差点は4ヶ所に「止まれ」の標示、2ヶ所に3個のカブミライを設置しており、ドライバーがマナーを守れば事故は発生しない。

国道42号との交差点は国道42号から町道への進入について右折だまりがなく、危険場所と考えるが、改良は困難であるが、事故を減らすため、紀南工事事務所などと協議していく。

国道425号・真妻線の道路拡張工事の現状と今後の計画は？

質問 国道425号・真妻線の拡幅は住民の切実な要求となっている。現状と今後の具体的な計画は。

答弁 建設課長

田ノ垣内、上洞区間は3つの橋と1つのトンネルがほぼ完成している。

上洞、川又の約3kmの未改良区間は本年4月30日、知事と町長、地元区長会代表との面談で、早期の整備着手を求めた。

これに対し、知事から「前倒しで事業を図る。平成22年から地籍調査を開始、これが終了する翌年の平成25年度に上洞、川又区間の工事に着手する」との確約をとっている。町は知事の答えをもとにして、平成22年度から地籍調査をする予定である。





藤本 良昭議員

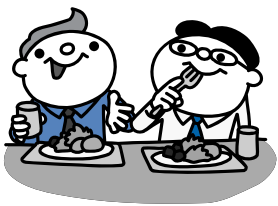
玄素町政・次のステップは!

人事管理について

質問 本年度末に退職予定者と勧奨による退職者、合わせて19名と大量退職者が出ると聞くと、行政の中核を担っている職員を失うことは行政運営上、支障をきたさないか。
また、これらを補完する新規採用は即戦力も含め、年齢などバランスのとれた採用は。

答弁 総務課長

退職予定は9年間で52名あり、新規採用計画としては平成23年～平成26年は各5名、平成27年～平成31年は各3名の採用を予定しており、10年後の正規職員数は80名になる予定です。平成22年度採用予定は8名、方法としては昨年同様、17歳～35歳を予定。中堅職員が少なくなることについては新規職員研修を密に実施、支障が出ないよう努めたい。



人口減を食い止める施策について

質問 印南町から企業が出て行く現状を踏まえ、他地区にない誘致条件や既存の企業への対応、あるいは子育てしやすい環境づくりや若者定住を図るための安価な宅地、住宅は考えていないか。

答弁 企画政策課長

企業の経営戦略とはいえず、移転される企業、非常に心苦しく思っており、今後、本格誘致をするとしても、やはり企業団地が必要であり、多額の資金とリスクを背負うことになるので、慎重に構えなければならぬ。誘致条件については、どこか自治体にも負けない考えをもっている。

答弁 健康福祉課長

子育て支援については、育児環境の改善として昨年7月より妊婦一般検診公費負担をこれまでの2回から5回に、また本年より国の補助金を活用し、5～14回無料化の拡充を図ってきたところである。

再質問 所信表明の中で、子育て支援のうち、医療費の対象年齢を思い切った引き上げ

を考えていると言われたが具体的な中味と、いつからかをお聞きしたい。

答弁 町長

医療費の無料対象年齢を中学3年生まで引き上げ、来年4月から実施したい。

地籍調査の推進

質問 本年度より新たに推進室を設け、積極姿勢は歓迎するが3人体制では事業費予算から見ると難しいのでは。

答弁 町長

課の編成替えも含め、柔軟に対応していきたい。21年度は島田・津井・印南原白河地区の3ヶ所を、また22年度以降、各ブロックごとにすすめ、公共事業予定地を優先したい。

農林業の振興対策

質問 真妻わさびの本格復興に向けての計画は。

答弁 産業課長

振興協議会10名と協議・検討し、すすめる。現在、川又・古井・羽六地内でそれぞれ

試験調査を実施中で、結果を見ながらポックス栽培等も含め、本格スタートする。

質問 林業対策について、強力な間伐推進を実施し、下層木を育て、鳥獣の住み家をつくり、生命の源ともいえるべき水の確保を図るべき施策をききたい。

答弁 産業課長

施策が適正に行われていない林分多く、公益的機能が発揮されていないので、本年度より従来の間伐補助に町独自の上乗せ補助1ha1万円を、また搬出機材について国・県の補助に町単独の10%上乗せ補助金を予定している。搬出された間伐材の活用として、バイオマス燃料等考えられるが広域的取り組みの中で推進したい。いずれにしても町森林組合と協議しながら振興を図っていきたい。





西山 徹議員

住民参加型のまちづくりについて

生涯学習を通じたまちづくりは？

質問 現在、町民がサークルへの参加、趣味の活動、文化・スポーツ活動など、生涯学習は年齢に関係なく一生を通じた人生学習であると考えます。

人づくりの上でも大切なことであり、まちづくりにもつながっていくものであり、生涯学習を町民が広く等しく、親しめるような取り組みとしてどのような考えをもたれているのかお伺いします。

答弁 教育課長

社会教育での生涯学習のまちづくりを目指す主なものとして5点申し上げます。1点は読書のまちづくり、2点は食育の推進と健康、3点は子育て、学校教育、社会教育への人材活用、4点は青少年の健全育成のための家庭・地域・各種団体の連携交流、5点目は郷土の歴史文化の継承と新しい文化。

これら5点を目標に掲げ、事業を進めています。

再質問 各地区で生涯学習として活動することがまちづくりにつながっていくと考えますが、具体的に説明をお願いします。

します。

答弁 教育課長

これからの時代、住民の心からのまちの活性化、元気なまちづくりを展開することが有効であり、公民館の分館事業もマンネリ化であると言われますが、最終目標は、まちの活性化であり、よい方向に進むためには、住民との情報の共有、協働が不可欠であり、住民目線でのまちづくりを考えていきたい。

町民参加のまちづくり、秋のイベント計画は？

質問 町民参加型のまちづくりについては、町の活性化は一部のグループや協会等であるのではなく、町民誰でも参加出来るような場づくりとして考えられないか。

住民にまちづくりへの積極的な参加意識を持たせるために行政が率先して関わるべきと考えます。

秋に住民参加型イベントの開催を計画しているとのことですが、その内容や運営方法についてお伺いします。

答弁 産業課長

イベントについては、ふるさと地域力発掘支援事業とい

う4年間の国の直轄事業の中の一つであり、計画しているイベントの内容や運営方法については、実行委員会を立ち上げ、すぐ実行に移していきたいと思っております。

再質問 町民が交流できるイベントづくりという点で、どういった組織作りをするのか

お伺いします。

答弁 産業課長

国の直轄事業の一環であり、イベントだけでなく、子ども交流、農家民泊と合わせて、住民の方々と一緒に汗をかきながら取り組んでいきたい。



イベントは交流の場だけでなく商品のPRにも効果あり



道 修一議員

印南町の将来に行政放送システムは必要と考えるが…。

質問 印南町はe光による光回線が全町に敷設され、ブロードバンド、IP電話、デジタルテレビ・多チャンネルテレビ放送が利用できるようになりました。

行政放送(24時間受信)の設置について、役場の通達、保険・健康・介護、産業(特に農業)、文化等、印南町の将来に行政放送システムが必要と考えますがいかがですか、詳しく答弁願います。

答弁 企画政策課長

行政ネットワークは、現在の民設民営のe光では無理があると思います。

再質問 無理があるということとなく、印南町は遅れていると思いますので、町長いかがですか。

答弁 町長

e光の接続率は約1000件と聞いています。共聴の問題もあり、今、行政放送をどうするかは考え難いと思います。

共聴施設利用者への対応は

質問 共聴を残すことについて、またe光の印南町限定方式採用の目的はいかがでしょうか。



光ケーブルが敷設。光通信が可能に。

答弁 企画政策課長

ケーブルテレビ方式の採用(e光限定テレビ受信)については現在交渉しています。今年の8月には会社の方針も出ることと考えています。

各共聴単位でケイオプティコムと前向きに交渉していきたいと考えています。

再質問 仮に印南共聴が解散すると町に申し出た場合、後の責任は町で持ってくださいませんか。

答弁 企画政策課長

最終決定は共聴組合において判断することであり、町としてはe光テレビへの加入、共聴施設の改修選択肢を分かりやすく提供したいと思っています。

下水道政策の抜本的な見直しが必要

質問 和歌山県は下水道整備が遅れています。また、日高郡では御坊市とともに印南町は下水道整備が遅れています。

町は合併浄化槽の推進をしていますが、市街地では浄化槽の設置場所のないところがあり、また公共下水道は費用

対効果に問題があります。

当町整備の遅れを取り戻すためにも下水道政策の抜本的な見直しが必要と考えますが県の意向についてはどうか。

答弁 上下水道課長

19年度末の全国の未普及率は83.7%、和歌山県は45.4%で全国ワースト2、平成29年度普及率70%を目指している。

このままでは達成が困難とのことで、今後、市町村が主導となり取り組んでほしいとのことがあります。

質問 市町村設置型下水道方式の採用はいかがですか。

答弁 上下水道課長

現在、印南町では合併浄化槽を推進していますが、個人設置型と面的市町村設置型との比較検討を行っているところであります。





堀口 晴生議員

行財政改革について

質問 住民の負担増に対する行政の努力は？住民の痛みばかりでなく、行政の痛みがあつてこそ住民からも理解していただけると思いますがどう考えていますか。

また、計画的な人事管理も町政にとって大切と考えますが、来年度の採用者と対象者の予定も含め職員採用の方針を知りたい。

答弁〓総務課長

これについては、負担の公平性、それから透明性を確保することを目的にし、単純に行政経費の住民への上乗せ、転嫁でないと考え実施をした。

職員の採用方法においては、豊富な行政経験された職員の方々が少なくなるといふ不安も組織機構改革、人事管理面で強化していきたいと考えています。

住民にとって何が必要で、どのようなことで苦しんでいるのか、関係機関と住民の基本合意が必要であり、町政から足を運んで、そのような場を作っていくという動きを要望。住民で町政が成り立っていることを忘れてはならない。

町有財産の有効活用について

印南港東側埋立地の有効活用

質問 この件については昨年3月の定例会で質問をさせていただき、その時の答弁では用途変更は可能性があり、関係機関や住民の基本合意が必要であるが、結果として多目的公園が必要となれば積極的に推進していきたいとのこと

でしたが、その考えは今も変わっていないか。また、有効活用の計画があればお聞かせ願いたい。

答弁〓建設課長

平成10年の竣工許可から10年が経過しており、変更が許可されずと関係機関や利害関係者、漁業組合などの漁業権利者との協議は必要ですが、多目的公園だけでなく、その他の有効活用は可能となります。

現在のところ具体的な計画はありませんが、町長の答弁にもあったように企業誘致の候補地としての問い合わせもありません。もちろん、公園等への活用も選択肢の一つとして模索している。今後いろいろな活用方法を慎重に検討していきたい。

有効活用が期待される印南港東側埋立地



幼保一元化にかかる施設や跡地の有効活用について

質問 平成23年度を目標として幼保一元化を進めています。が、幼保一元化が達成できたとき、残された施設や跡地について活用は考えているのかお聞きしたい。

答弁〓教育課長

幼保一元化が達成できたとくに残された跡地についての活用は、様々なご意見があるうかと思えます。現段階では耐震問題等がクリアできる施設につきましては、先ず地元の方々の考えをいただきたいながら柔軟な対応をしていきたいと思っております。

このほかに、提案意見として、幼保一元化にかかる施設等の有効活用について、印南幼稚園の施設の活用として、住民の長年の夢である「資料館」としての有効活用について提案しました。（印南の歴史を大切に保存することによって、子々孫々に継承することが大切です）



梶本 敏夫議員

防災対策について

質問 去る1月、町職員は土曜日を返上して関係機関と連携の下、防災対策の机上訓練を行い、万一の災害発生時への訓練をされたと承りましたが、私たちは常日頃から防災訓練と共に、さらに万一に備えて対応する心構えが必要と思つておりますが、それは今、全町内各地を見ますと万一の場合に自然災害が発生の恐れのある要注意箇所が、あちこちにあると思つています。こうしたところを常に住民に周知徹底する必要があると思つておりますが、いかがでしょうか。

答弁 総務課長

危険箇所把握と住民への周知について、地震津波対策、大雨防災対策については平時の備えが肝要であるの申すまでもございませんが大地震の被害を想定して印南、切目地区においては津波浸水予想と避難マニュアルにより周知徹底を図つております。

また、大雨洪水等には本年、洪水ハザードマップの作成に着手しているところで、

印南川、切目川の2水系には浸水箇所やその避難対策について、これもマップ作成に合わせて早期完成に努めたいと思つております。

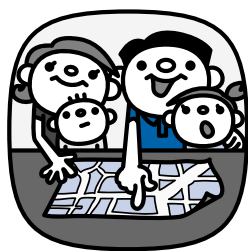
また、山間部は県の方から土砂災害危険箇所マップの提供を受けているところで、全町規模の実態把握については現在、全町地域防災計画の見直しに着手しているところ。具体的検討し、地域住民と情報を共有したいと考えております。

再質問 全県下で危険箇所は18487箇所あるとのことですが、当町内にはいかがでしょうか。

答弁 総務課長

今現在、町内の土石流危険箇所は231箇所、急傾斜危険地域は398箇所、地すべり危険災害指定は13箇所でございます。合計642箇所、かなり多く指定されております。

これについて地域防災計画を策定の際に地域住民の方々の理解を得ながら場所指定等について公表してまいりたいと考えております。



不況対策について

質問 現在、百年に一度と言われている世界的不況で大変ですが、町内で操業の各企業も大変と思つています。常に町内企業と緊密な連携を持ち企業訪問等を行つてきている町として、今回の大不況下、懸命に頑張つておられる町内企業の現状はいかがでしょうか。また、行政はどう把握され、どのように行動されようと思つておりますか。

答弁 企画政策課長

町内各企業においても生産の減少に伴う企業収益の大幅な減少、また雇用情勢についてもリストラなど待機等急速に悪化しており、とても厳しい状況にあると承知しております。

県においても緊急経済対策本部を設置し、総合相談窓口を開設して企業活動の安定に向けて取り組んでおります。

当町も、そのフォローアップで事業の一環として県とともに企業訪問等を行い、雇用調整助成金または中小企業



移転が予定されている金鳥

緊急雇用安定助成金や資金繰り対策等の紹介をさせていただいております。今後町内企業と綿密な連携を保ちつつ、今回の経済危機に対応してまいりたいと思つております。金鳥の移転についても過去10年前から町としても用地等でも折衝してまいりましたが実現できなかった経緯もございますが、非常に残念ですが、企業戦略の一環で仕方がないかと感じております。



廣野 英幸議員

「鳥獣害」「遊休農地」 改修のための強化対策チームを つくる必要があるのでは

鳥獣害の対策は

質問 鳥獣被害については年々そのエリアが広がり、対策に困っています。固定の捕獲柵を設置し、イノシシ等の捕獲対策を考えては。

答弁 産業課長

大型柵の設置計画はございませんが今後、実施地区の設置状況、効果等の問題点を検証して考えていきたい。

遊休農地対策と 利活用は

質問 高齢化・後継者不足などの要因から遊休農地が増えている。農地は本来の役割を果たすとともに、洪水防止や美しい農村の景観を守るためにも地域と行政が力を合わせて取り組んでいく必要がある。行政の考えはどうか。

答弁 産業課長

農業立町として、農業委員会、農業団体及び地域との連携を密にし、担い手への利用集積、新規就農者の育成と含ませ遊休農地未然防止も含め、解消に取り組んでいきたい。

パイプハウスの 建て替えに助成を

質問 町内における農業経営は施設を取り入れた集約的な農家が多く、特産の豆類、花ミニトマトをパイプハウスを利用して栽培しているが、パイプハウスの建て替えの時期が来ているが補助事業で取り組んでもらえないか。

答弁 産業課長

県を通じ国等にパイプハウスの事業化を要望していますが、今のところ、事業成立の見込みは立っておりません。

再質問 農

業立町を守るためにも関係する市町とも連絡しながら取り組んでもらえないか。



印南町の農業振興に大きな効果を上げるビニールハウス

答弁 町長

農業立町としての地位を確保していくためにも町単独でという考えも必要になるうかと思いますが、施設に対しての調査をしてみたいと思っております。

学校を中心とした 食育教育は

質問 町内の食育教育の実態と児童生徒の食育に対する関心度と成果はどうですか。

答弁 教育課長

食育の充実は子どもたちの生きる力を育む上で知育、徳育、体育とともに重要な教育である。

学校栄養職員を中心に食べ物働き、生活習慣病との関係、食料流通システムの食育を進めており、それにより偏食、朝食の欠食、一人で食べる個食の解消や栄養バランスを考える力、生涯にわたる健康づくりには大変な関心を寄せるなどの成果が生まれている。



「委員会活動報告」

総務文教常任委員会

閉会中の所管事務調査として防災体制、備蓄状況、特色ある事業等について5月26日に管内沿岸4町役場を視察研修しました。

みなべ町役場

備蓄について埴田に備蓄倉庫があります。ここに毛布が890枚あったのを岩代・上南部・高城・清川へ配布しました。

食糧は、今のところ備蓄はしていません。5年くらいが賞味期限なので、5年ごとに何百万円かの購入となりますので農協との協定の中で食糧もお願いできると思っています。

自主防災組織は、34地区全域に設立しています。20年度で全部設置完了しました。

美浜町役場

備蓄食糧について、美浜町の避難所では3742人が避難生活を想定されますので、最低限1日3食で、約12000食を計画しています。また、飲料水は1

人3リットルを備蓄しています。

自主防災組織は、12地区全部結成しており、町の補助による資機材を各地区で保管しています。

浜ノ瀬の避難塔

総工費は約810万円。設計と建築は主に町内業者、耐震診断は和歌山高専で行い、その上で建設しました。

田井畑コミセンの避難塔設計、建築物込みで、2800万円。3階の屋上部分が避難施設です。

避難誘導ポール

町内4箇所に設置しており、今年度も1基建設予定。美浜町防災ラジオを、無料で全戸へ配布します。

日高町役場

備蓄はカンパンと水戻し餅をそれぞれ1400食ずつ購入。

賞味期限の切れる1年半前の防災週間中に保・小・中学で生徒に配布しています。

自主防災組織は21地区のうち、11地区で設立。飲料水配水タンク



美浜町浜ノ瀬の避難塔

自主防災組織は町内19地区のうち、15地区で設立。100万円分の資機材を配布しています。

災害時の協定として、町商工会、農協Aコープ、ハンキストア、ローソン、自動車振興会由良プロツク会。

避難誘導標識

17年度から毎年設置しています。

LED蓄電池内蔵型防犯灯は今年150基を取り替える予定。

厚生常任委員会

国民健康保険事業の現状と課題について

5月22日、この件について委員会を開催。

健康福祉課と税務課から次の3点について説明を受けました。

国保財政の仕組みについて現在、国民健康保険の被保険者数は3983名、世帯数1789世帯、21年度当初予算は12億8497万円の規模です。

基本的に調整交付金とか国庫負担金、県の調整交付金のと国保税とが医療費の50%ずつを担うバランスで計算をす

る仕組みです。

国保税について

40歳未満の人は、医療保険分と後期高齢者支援金分を納入。40歳以上から65歳までの人については、それにプラス介護納付金を納入していただき、65歳以上75歳未満の人は国保税と医療支援分は税務課の方へ納入いただき、介護保険料は年金の方から天引きが原則となっています。

国保の給付について

入院時食事代、一般・一食260円、出産育児一時金38万円、葬祭費3万円、払い戻し(領収書・意見書が必要)保険診察がきくもの。

19年4月から入院されるときに申請(滞納のない人)すると限度額適用認定証を発行。

高齢受給者証を持った人について、一般の人で外来12000円、入院44400円の支払いで、超えれば高額で2ヶ月遅れで連合会より連絡あり。

お願い

お勤めになつていて辞められて国保に加入するときは是非、退職者医療を取得していただきたいのです。

担当課から以上の説明があり、以下、質疑を行いました。

由良町役場

備蓄は毛布1000枚、アルファ米2100食です。

ZTVと契約して役場や学校などの公共施設に設置。

緊急地震速報

ZTVと契約して役場や

学校などの公共施設に設置。

Q 乳幼児医療の子育て支援
ということ、他町村では
義務教育課程までは費用は
行政で持つという形をとっ
ているが、印南町としては
今後どのような形をとって
いくのか。

A 印南町についても、かな
り前向きに検討していま
す。和歌山県下で一番多い
のは小学校に入るまで、近
辺でも小学校6年生とか、
3年生までという町も出て
きています。今も、障害者
の方は医療費無料という制
度を行っています。
ただ、無料になると、7
割の負担がふかれてくるの
で保険料も高くなり、福祉
医療波及分ということ、
町も一般の税金から一部入
れているようにすべてがっ
ながってきます。

最後に委員長より、資格証
明書の問題につきましてもい
ろいろ苦労なされているが、
命を守る問題ですので、さら
に努力を重ねられるようお願い
して閉会した。



厚生常任委員会会議の様子

産業建設常任委員会

今回の委員会は、「産業振
興のための資源や人材の発掘
と活用について」というテー
マについて、今までのように
担当課から説明を受けるので
はなく、担当課である産業課
と委員会がテーマについて自
由に意見を交換し、印南町の
産業振興を図っていく上で、
何が課題で、どういった方向
で産業振興を図っていけばい
いのかを協議し、統一した見
解で意見をまとめるという方
法で委員会を開催しました。
自由な意見交換の中で、主
に次のような意見がありまし
た。

産業課での業務としては

農業振興、水産振興、林業
振興、商業振興、工業振興、
観光振興と大きく6つの業
務がある。この各産業につ
いて一つずつでも具体的な
計画を立てて進めていきた
い。

漁業振興としては町の魚
である「イサキ」をもっと
売り出していくことを考え
る。そのためにもイサキの
放流をもっと増やしてい
く。中間育成施設が少なけ
れば補助金とか、公共用地
を有効利用して施設を増や
していく。

所得を増やすことによっ
て後継者も生まれる。後継
者が増えたらいろいろな発
想も生まれてくる。

印南港の東側の埋立地が
活用されていない。このま
ま放置するのはもったいな
い。

芝生公園にでもすれば、
いつでも潰すこともできる
し、何よりも町民の憩いの
場として最高の場となる。

また、月に何度か目刺し
やスルメなどの加工品や鮮
魚、農産物などを販売した
りすれば多くの人も来るの
ではないか。さらに、公園
管理などでシルバー人材の
活用も考えられる。

産業課、建設課、漁協で
埋立地の活用チームを組織
できないのか。出来れば町
民にも呼びかけて「芝生公
園をつくる会」といったよ
うな会を立ち上げるのも一
つの方法である。

人が集まる拠点をつくる
ことによって、いろいろな
ことが出来る。また、あら
ゆる面での相乗効果が期待
できる。

何にしても最初は行政が
引っ張っ
ていかな
ければ駄
目であ
る。しつ
かりした
基盤を行
政でつく
ってやる
努力が必
要。

この他

にも、企
業誘致、
既存企業
の振興、
さらに一
次産業の
振興策な
どの意見
が出され
た。



産業振興の拠点としての活用は（印南港東側埋立）

最後に委員長から、印南港
東側の埋立地の有効活用、働
く場所の確保としての企業と
の連携、地場産業を元気にす
るための方策、交流産業とし
ての発展を期して印南町にあ
る資源と人材を最大限に活用
すること、加工による付加価
値を付けるための研究など、
今後官民一体となつて取り組
んでいくことを確認して委員
会を閉じた。

株式会社いなみの里梅園

町内企業めぐり8

前回に続き、町内の企業を紹介いたします。今回は「株式会社いなみの里梅園」をご紹介します。



代表取締役
薬科 秀一 氏

「新しい食を求めてチャレンジしつづけます」

紀 州印南町は、自然がたひときわ緑濃い農業に最適の環境を止めています。その農業に適した環境の中、地元の特産

品にこだわり、私も南高梅の栽培から手がけました。ほどなく供給できる量の良質の南高梅が収穫できるようになり、それならいっそ自分自身で加工をし、販売していこうと自社独自の梅加工の研究に取り組みました。

地元の特産品、紀州産南高梅にこだわり、自社の農園で栽培自社工場加工、そして販売と一貫して作業をおこなっております。

ールしております。今後はネット販売にも力を注ぎ、地方発全国区！を目指し、自社製品に限らず印南町の特産品なども販売していければと思っております。

経営理念

日 々丹念に納得のいく味づくりを目指し、作り手のこだわりではなく、お客さまの求めている味を求めて常に新しい食へのチャレンジを続けていくことと思っております。

会社の概要

現 在、関東で
は株三越
関西では、(株)近鉄百貨店、(株)阪急百貨店、などでお取り扱いをいただいております。

印南町に響かひ

現 在和歌山県では、県の産品を全国へ！と、いろんな取り組みをされております(企業合同商談会、ブーデックスや他の展示会への出展など)。町単体でそのような取り組みは難しいことと思えますので、人材の派遣など県の取り組みに対しての細かい部分でのバックアップをしていただければと思っております。



第47回全国推奨観光土産品審査会 農林水産大臣賞受賞

ギフト商材から、お買い得商品まで幅広くご利用いただけます。また、いろんな展示会などにも積極的に参加し、和歌山を「印南町を！地元のいろんな特産品を全国にアピ



FOOD EX JAPAN 2009
(千葉幕張メッセ)
2009年3月3日(火)～6日(金)



あごがき

今回の6月定例会は、議会議員の一般選挙前の定例会で、お別れ議会とも言われています。4年前の選挙で選良された14名の議員がまちづくりのために議会活動を行ってきました。今回のあごがきは、印南町議会議員の一般選挙についてお知らせします。

7月28日に告示がなされ、5日間の熱き選挙が始まります。8月2日(日)は投票日という日程になります。選挙は20歳以上の成人に与えられた権利の一つでもあります。一人一人の意思を町政に伝える権利であり、大切な手段でもあります。

議会議員は町長と同じく、皆さんの思いのこもった一票で選出され、町の未来を決めていきます。棄権をせず必ず投票をしていただきますようお願いいたします。

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 榎本 一平 |
| 副委員長 | 西山 幸徹 |
| 委員 | 廣野 英幸 |
| | 前山 立美 |
| | 谷井 長平 |
| | 鈴木 紀博 |